

平成30年度 愛知県高等学校新人体育大会・弓道競技 要項

主催 愛知県高等学校体育連盟
 共催 愛知県教育委員会
 後援 愛知県体育協会 愛知県弓道連盟
 期日 平成31年2月16日(土)【受付8:45~】
 会場 日本ガイシスポーツプラザ弓道場
 名古屋市南区東又兵衛町5-1-5 TEL052-614-6211
 役員 大会委員長:栗木晴久
 競技委員長:田辺 勲 総務:宮島 豊
 審判長:榎本靖治 審判:山田裕久 杉山堅一 (千田圭太)
 運営委員長:千田圭太
 的前:齋藤洋志 浅井泉英 白井卓夫 高柳洋一 齋藤佑介 加藤宏明 塚本暁央
 進行:後藤武志 越山大八 佐々木厚 鈴木敬嗣 岡本憲幸 鹿島 啓 藤田健太郎
 招集:天野聡志 水野勝巳 伊藤和正 林 直隆 尾碓 実
 記録:岡本 篤
 (記録 集計)鹿嶋映臣 洞口陽子 清水 遼 荻山晶絵 青木亮一郎
 (計時 掲示)福留千明 加藤 永 吉田友梨
 (放送)片岡里奈 林むつこの
 救護:小島裕美
 補助員:明和高校・名古屋南高校・中京大中京高校

競技方法

—団体競技—

- 団体は1チーム7名(正5・補2)編成とする。
- 予選は立射、各自4射、計20射の合計的中数で順位を決定し、上位8チームを決勝トーナメント進出チームとする。同中の場合、上位8チームを決定する場合は競射、それ以外は抽選により順位を決定する。1チームの行射時間は7分以内とし、6分30秒で予鈴を鳴らす。制限時間後の矢は無効とする。
- 決勝トーナメントは決勝のみ坐射。各対戦各自4射、計20射の合計的中数で勝敗を決定し、同中の場合は競射を行う。坐射の行射時間は8分以内とし、7分30秒で予鈴を鳴らす。制限時間後の矢は無効とする。
- 決勝トーナメントの組合せは、予選順位により、下図の通りとする。
- 選手の交代は予選(決勝進出のための競射を含む)終了後2回まで認める。
- 3位まで表彰する。(3位は2チームとし、3位決定戦は行わない)

—個人競技—

- すべて、立射で行う。
- 予選は各自4射とし、男子3中以上、女子2中以上を準決勝進出者とする。なお、団体競技予選出場者は団体競技予選の的中本数を個人予選の的中本数とする。
- 準決勝は各自4射とし、3中以上を決勝進出者とする。行射時間は団体に準ずる。
- 決勝は射詰めによって行う。
- 5位まで表彰する。

競技上の注意等

- 引率教員が受付をする。
- 競技の進行は女子団体予選→男子団体予選→女子個人予選→男子個人予選→団体予選順位決定戦(女子→男子)→女子個人準決勝→男子個人準決勝→女子個人決勝→男子個人決勝→団体決勝トーナメント(トーナメントの試合順は図の通り)の順とし、団体予選及び個人は4射場、団体決勝トーナメントは2射場で行う(トーナメント表右側が第1射場、左側が第2射場)。
- 服装は弓道衣・袴・足袋とする。団体・個人ともに規定のゼッケンを右腰前に着ける。個人用のゼッケンは団体用のゼッケンを流用してよい。
- 第3控から第2控に移動するとき不在の選手は失権とする。
- 必ず予備矢を持参する。○ 必ず取り矢をする。
- 射場入場から退場までの間、射技に関する指示は一切禁止する。
- 上記の他は、全国高等学校体育連盟弓道競技規則、全日本弓道連盟弓道競技規則及び、愛知県高等学校弓道専門部内規に基づいて実施する。



